

2019年4月5日

SUBARU 「航空機搭載型小型赤外線センサシステムインテグレーションの研究試作」において、試作品を納入

SUBARUは、2019年3月28日、当社航空宇宙カンパニー(栃木県宇都宮市)が防衛装備庁より受注している「航空機搭載型小型赤外線センサシステムインテグレーションの研究試作」において試作品を納入しました。

2016年3月に防衛装備庁と締結した研究試作契約を受け、当社は既存の小型航空機を改修した飛行試験機に搭載する警戒監視用の小型赤外線センサおよび高度な飛行制御システム、ならびに管制を行うための地上システムなどの試作品を開発・製造しました。

この試作品は2018年10月の初飛行以降、試験飛行を重ね、機能・性能、安全性等を順調に確認し、防衛装備庁による審査を経て納入に至りました。今後、本試作品には防衛装備庁にて各種試験が実施される予定です。

SUBARUは、小型航空機や無人航空機をはじめとする航空機のシステムインテグレーションに関して、40年以上にわたる開発経験により培った技術基盤を持っており、その技術と経験が本事業においても十分に発揮されています。

<ご参考>

2018年10月17日 SUBARU 「航空機搭載型小型赤外線センサシステムインテグレーションの研究試作」で、飛行試験機の初飛行に成功

https://www.subaru.co.jp/press/news/2018_10_17_6415/



飛行試験機